

心の聲

三沢高校3学年通信 vol.7

題字は第一体育館「校歌」より
文責 野澤克哉 平成30年10月31日

Seize the Day! この日をつかめ

3階の職員室の廊下には、1つのホワイトボードがあります。そこには1週間ごとに生徒への激励も込めて名言を書くことにしています。10月は3年生にとって非常に苦しい月だったかもしれませんが。週末には模擬試験があり、「勉強しなさい!」とばかり言われる日々…生徒の中にはすでに大学、専門学校、就職で合格切符を手に入れ、高校卒業後の進路が決定した人たちも出て来ました。「自分はどうなるんだろう?」そういう不安に襲われている生徒も多いことと思います。ホワイトボードに、シラーというドイツの詩人の言葉を書きました。

時の歩みには三通りある。
未来はためらいながら近づき、
現在はずりのように飛び去り、
過去は永遠に静止している。



明日から11月です。推薦入試で受験する生徒にとっては目の前に「推薦試験」が迫っています。多くの先生方が分担して3年生の面接指導や小論文指導を実施しています。11月20日(火)～22日(木)には高校生活最後の定期考査である「後期中間考査」もあります。10月以上に苦しさを覚える日々が続きます。受験する全国の受験生が同じ状況にあるということをおぼろげに忘れることなく…自分に必勝!という気持ちで頑張りたいと願っています。

ためらいながら近づいている未来に対して、我々はどうすればいいのでしょうか。過ぎ去った過去は変えようがありません。現在はこの瞬間もあっという間に過ぎていきます。入学して2年半…卒業まで120日…時の流れは本当に早いものです。幼かった生徒達は本当にたくましくなりました。今も成長し続けています。卒業式にどんな姿を見せてくれるのか…少し哀しいですが、とても楽しみにしています。



小野先生の朝講習(数学)

高校3年生とは～白線流し～

22年前、1996年(平成8年)私は三本木高校で3年生の担任をしていました。その年、フジテレビで1つのドラマが放送されました。それが「白線流し」でした。信州が舞台で、高校3年生の2学期から卒業までを描いた素敵なドラマでした。3年生を担当するたび見たくなるドラマでもあります。その第1話で、主人公の七倉園子という女子生徒が次のように話すシーンがあります。

高校生って何だろう。
大学生になるためのステップ?
社会人になる前の準備期間?
大人ほど賢くないけれど、
子どもほど無邪気でもない。
中途半端な季節…
みんなニコニコしているけれど、
本当は退屈しているはずだ。
高校時代ってこんなものかしら?
卒業までの半年で、
答えは見つかるのだろうか。
そして将来、
今の時代を懐かしむことができる
のだろうか。



お子様に自分の高校時代を話す…そんな時間があってもいいのではないのでしょうか。私は授業で時々話します。決して威張れるような高校生活ではなかった、高校3年生の、ちょうどこの頃、いつものように登校して、いつものように仲間と挨拶を交わし、いつものようにたわいもない会話をして…ふと周囲を見渡すとみんな真剣に勉強していました。私は完全に遅れていました。その時の自分に今声をかけるとしたら…何て言うのだろうか…こんな話を生徒にしています。今月は生徒に関わる行事がなかったのも、いつもとは違う学年通信にしました。みんな高校生だった…18歳という時を過ごし生きてきたからこそ今がある。高校3年生の今を大切に生きて欲しい…切にそう望みます。

11月の行事予定

2日(金)・3日(土)ー駿台・ベネッセマーク模試
5日(月)ー生徒会立会演説会
7日(水)ー進路講演会・保護者連絡会
10日(土)ー土曜講座
18日(日)ー全統プレテスト(北里大学)
20日(火)～22日(木)ー後期中間考査
12月1日(土)ー土曜講座



自習室です

卒業式まで…120日、センター試験まで80日です。